



2020年6月26日

各位

会社名 株式会社ハイレックスコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 寺浦 太郎
(コード番号 7279 東証第2部)
問合せ先 経理グループ担当執行役員 芦田 安功
(TEL 0797-85-2500)

2020年10月期第2四半期累計期間連結業績の前年同期実績値との差異
及び2020年10月期通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年10月期の連結業績予想について、新型コロナウイルス感染症が業績に影響を与える未確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なことから、「未定」とさせていただいておりますが、2020年10月期第2四半期累計期間(2019年11月1日～2020年4月30日)につきまして、連結業績と前年同期実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2020年10月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年10月期第2四半期累計期間連結実績と前年同期実績との差異
(2019年11月1日～2020年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年同期実績値(A)	124,083	4,257	5,103	2,771	72.90
当第2四半期累計期間 実績値(B)	106,578	1,287	1,649	446	11.74
増減額(B - A)	△17,504	△2,969	△3,454	△2,324	—
増減率(%)	△14.1	△69.8	△67.7	△83.9	—

差異の理由

当第2四半期(2019年11月1日～2020年4月30日)の連結売上高は、主に第2四半期以降における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴う、各国でのロックダウン、顧客の稼働停止の影響等により、グループ各社の生産活動が大幅に低下し前年同期比で減少となりました。連結の営業利益は、生産性の向上等の合理化に努めたものの、販売減少に伴う操業度低下の影響で減少し、前年実績を大幅に下回りました。連結の経常利益は、この営業利益の下振れと為替差損の計上等により前年実績を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、この経常利益の下振れにより前年実績を大幅に下回りました。

2. 2020年10月期の通期連結業績予想について

2020年10月期の通期連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)につきましては、2020年3月6日付で公表しました「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響に関するお知らせ」において、当該ウイルス感染症の世界各国における拡大、行政府による規制、顧客の操業状況の変動など、業績に影響を与える未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な業績予想の算出が非常に困難なため、「未定」といたしました。

当該ウイルス感染症が当社グループの業績に与える影響は、継続して確認中ではありますが、2020年7月以降の影響については依然として不透明な状況であるため、2020年10月期の通期連結業績予想につきましては、現時点で合理的な予想が困難であり、引き続き「未定」とし、今後、各国グループ各社の状況確認が進み、当社グループ事業の連結業績予想について適正かつ合理的な算出が可能になり次第、速やかに開示いたします。

以上